

事務所荒らしは、空き巣とは違って、ボールなどの工具でドアを破壊したり、シャッターを破るといった手荒な侵入手段を使います。多く発生するのは、人通りが絶える深夜や休日。

次の点に注意しましょう。

①各出入口のドアやシャッターなどは、簡単には壊されないような頑丈なものを使用し、侵入のため壊される恐れのある壁は、鉄板などで補強する

## 事務所荒らしに注意

②ドアや窓の開閉、人の接近などを感知する各種センサーや防犯ビデオカメラなどを設置し、機械警備の導入に努める

③現金や貴重品は、引き出しやロッカーなどに保管しないで、必ず破壊や搬出防止対策を施した金庫に保管する

④耐火金庫は破壊強度が十分あるか確かめる

防犯一口メモ